

やいちのこ

混乱の令和2年も残すところわずかととなり、また：今年の漢字「密」は、もともと「奥深い山（山奥の密かなところ・都留市でも身近にあるようなところでしょうか）」を意味していたと言われます。「山」は1年生、「必」は4年生、「密」は6年生で習う漢字です。とても親しい（隙間のない）様子を「親密」、隙間なく締め切ることを「密閉」、丁寧で隙間なく細かい様子を「緻密」などと表現します。個ではなく、人としての繋がりが関係性の大切さを示していた漢字とも言えます。今年、「三密回避」のように一見すると人の繋がりを否定してしまうような受けとられ方をされてきたように感じますが、確かにこの一年を象徴する言葉だったと思います。

学校としては、ここ3年間は「変」で表されるように、「変化」の時期でした。特に、本年度より完全実施となった新学習指導要領により、教科も学習内容も教科書も大きく変わりました。そのため、指導内容・方法が変わり、評価も授業形態も変わりました。当然、学校は人が人を教える場ですから、根本的な指導と目指すところは何ら変わりありません。今回の新学習指導要領の大きな柱となるのは、「主体的・対話的で深い学び」の構築です。

①自ら学ぼうとする姿（学び方の習得）
②対話を重視した学び合いにより互いに成長し合う姿（コミュニケーション能力の重視）
③授業で学んだことを自らの生活で活用する態度の育成

今年、これらを目指し、組み直してきた谷一小全体の教育活動の初年度でした。
・特別の教科「道徳」↓平成30年度より教科として先行実施。
・外国語授業（5・6年生）↓活動ではなく教科として、都留市では一昨年度より先行実施を

「密」と「変化」から希望と安心の年へ

進めながら、中学校での英語授業とのスムーズな接続を目指しています（ALITに加え、都留市独自の英語専科教員を配置）。3・4年生は、今まで通りの外国語活動で、英語に慣れ親しみ「英語が好きになる」を目標に実施しています。

・プログラミング教育↓論理的思考の育成を目指した学習活動を仕組みます。パソコンを使った学習のみにとどまらず、どの教科においても学習の手立てとして取り入れていきます。現在都留市においては、来年度に向けて「GIGAスクール構想」の構築を進めており、ICT機器をはじめ、情報教育環境の整備が整うことで、より多様な学習活動を展開することができそうです。

これらは一部ですが、小学校においては大きな変革の一年でした。しかし、実際は臨時休業でのスタート、感染拡大防止対策による授業の制限と、なかなか当初の計画通りには進められない状況が続いています。授業一つ一つ、活動一つ一つをどこまでできるのか、検討と工夫を重ねては恐る恐る実施し振り返り、次の学習活動を組立てていくことの繰り返しになっています。


それでも、感染拡大が心配されたこの一ヶ月でしたが、保護者のみなさんの迅速で的確な対応により、今現在、子供たちへの感染が食い止められていることに心より感謝申し上げます。いつ、どこで、だれが感染してもおかしくない状況が続いています。このあとの年末年始及び冬季休業においても、多くの行事等で人々の移動や流れが気になるところです。子供たちとも再度度に渡り、自身を守る行動の確認をしています。

◆「マスク」「声」「手洗い」「人との距離」◆
加えて、「飲食の際の感染防止」についても、ご家族みなさんでしっかり確認いただけますようよろしく願います。新たな希望の年となるよう谷一小も準備をしていきます。みんな笑顔で希望あふれる新年を迎えたいと切に願います。

12月
未来に生きる児童の育成

学校教育目標
「生きる力」を育み、



12月号
文責：杉田



児童が思い描く”R3谷一小”

～児童会役員選挙 R2. 12. 17～

先日、令和3年度児童会役員選挙「立会演説会」「投票」が行われました。一堂に会しての演説会が開催できないので、候補者の演説を映像として3年生以上のクラスに配信しました。そこには、立候補した一人一人の考え・思い・願いが目一杯詰まっていました。選挙により5名の執行部役員は決まったわけですが、この10名の児童は、みな谷一小のリーダーです。投票する「大切な一票」は、全校児童が「100%協力します」という約束の一票であると確認しました。新たな“谷一小未来の地図”は期待溢れる地図として加えられました。

◆12/29～R3年 1/3 年末・年始休業日
(閉庁期間の連絡先→都留市教育委員会 代表：43-1111)

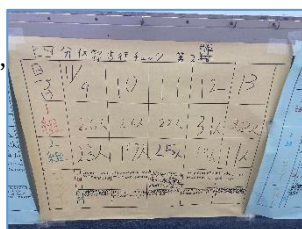
日	曜	行 事
12	火	3学期始業式
13	水	給食開始
14	木	身体測定 1・3・5年生 R3年度 PTA 役員選考委員会
15	金	身体測定 2・4・6年生
18	月	委員会活動 きずなの日
20	水	PTA 給食保健・厚生安全部会
25	月	入学児童保護者説明会
27	水	職員会議
28	木	学校保健員会→紙面開催

1月
主な行事予定

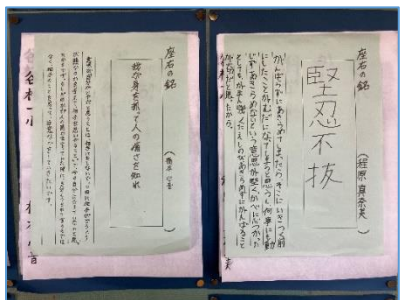
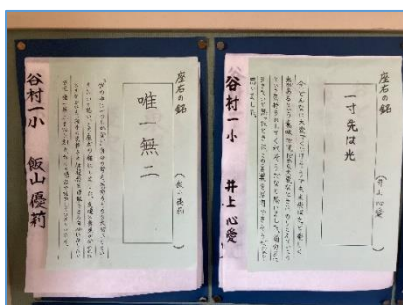
谷一小的新たな日常～SCENE 008～ “2学期を振り返って!!”



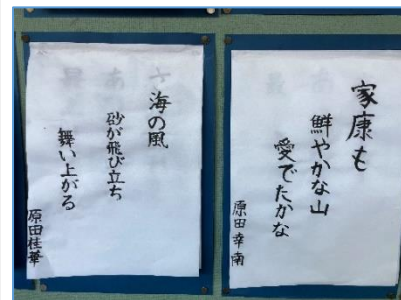
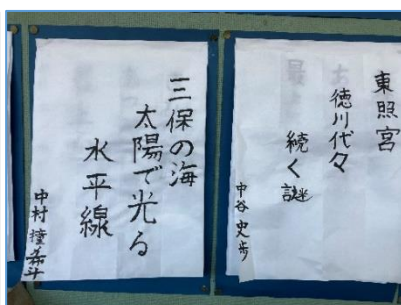
今年度、児童会のキーワードは「み・ら・い」です。3つの取組の筆頭にあるのが「みんなでしょう あいさつ・そうじ」でした。今回の役員選挙に立候補した子供たちの共通の願いも「あいさつができる谷一小」です。それに続くのが「他学年との交流できる谷一小」「いつでも助け合える優しい谷一小」でした。今までの選挙運動や演説会を通して、子供たちの願いと努力は、必ずかなうものだということを実感させたいと考えます。なかなか交流ができない今年度ですが、執行部は、学級が努力しながら取り組んで変化していく様子を”見える化”してくれました。それを受けた学年では毎日取り組み、毎日振り返り、自分たちが頑張ってきた様子を成長として記録しています。



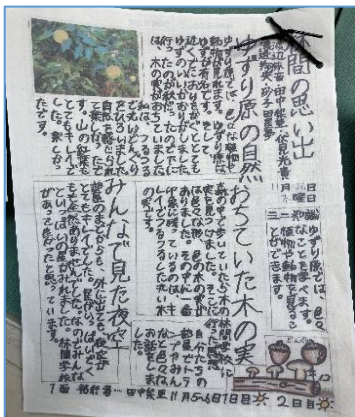
人間は、一人では頑張りきれません。同じ目標に向かって切磋琢磨できる仲間がいるからこそ自身が成長できます。人との物理的な距離を保つことが必要な今だからこそ大人の出番です。あいさつを振りまき、笑顔を振りまき、人との繋がりの大切さを子供たちと一緒に実感していける谷一小を、みんなで作っていきましょう。



「あなたの座右の銘は？」と問われると困ってしまいます。でも、子供たちが決める座右の銘は、いつも何か新鮮でワクワクしてしまいます。「唯一無二」(自分の価値を信じる)「堅忍不拔」(正に今を乗り切ります)「わが身をつねはすごい!」(人を思いやれる自分)



今までとは違う修学旅行の感動場面です。確かに300年も続いた徳川時代の謎は深い。当時と同じ景色を見ている今の自分が家康の心に重なっていきます。海の無い山梨県で育っている子供たちです。水平線の眩しくもやわらかい輝きは、初めての経験ですね。風で困ることの少ない子供たちです。なぜあれほどの松が必要だったのか、閃いた瞬間ですね。



五感すべてで感じ取った”秋” 林間学校

柚の色・形・肌触り・香り。漆黒の夜空に輝く星々。それらを今共感している友だちの声。無意識の中にも、感じる仲間のぬくもり。人間が神とあがめた炎の強さと優しさ。…今まで目にしたこと触ったこともないものばかりの中で、その感動をみんなで共有できている充実感が、しっかりと子供たちの心に「唯一の経験」として残っていきます。



1学期、家庭学習の大切さと難しさを経験した子供たちでした。2学期は、友だちの「自主学習」から学び、”やいちの子ウィーク”で取り組んでみました。学習の内容、ノートへのまとめ方、宿題に加え自学に使う時間…イメージは、パッチリです。後は、1日1ページで1年365ページ。ノート6冊分継続できた努力は大きな自信として、「明日の自分」に繋がりますね。



少ない時間でも工夫した委員会活動に

ジンゲルベルが聞こえてきそうな図書室

